

# 2025高松市男女共同参画市民フェスティバル

## 報告書

男女共同参画宣言都市・高松

### 2025高松市男女共同参画市民フェスティバル

# 自分色に輝く未来へ!

だれもお互いに認め合い、個性と能力を発揮し、共に輝くまちづくりに向けて、みんなが集い、語り合い、交流するために、さまざまな催しを行います。皆さんの参加をお待ちしています。

**11/15(土) ▶ 11/30(日)**  
※11/18(火)・11/25(火)は休館

## 講演会

**11月15日(土)**

- 開会行事 / 13:30 ~ 13:45
- 講演会 / 13:45 ~ 15:30

**とこ** たかまつミライエ 1階多目的室 **手話通訳あり**

**「ジェンダーの視点でひらく、新しい政治とは」**  
～地域の未来をかえよう～

**講師** 三浦 まりさん  
(上智大学法学部教授)

●定員 / 120人 ●入場料 / 無料

**プロフィール** 上智大学法学部教授。カリフォルニア大学バークレー校にてPh.D. (政治学)取得。専門はジェンダーと政治、福祉国家論。主筆に「さらば、男性政治!」(読売新聞、2023年)、ももこ山崎、平塚らいてう賞、「ジェンダークォータがもたらす新しい政治:効果の検証」(講義、法律文化社、2024年)等。

### お笑いライブ

●出演者 / 二者面談、本読亭魚之輔ほか

**11月15日(土)**  
10:00~11:00

●場所:ミライエ1F 多目的室

### 自分らしさ相談&体験ブース

**11月15日(土)**  
10:30~16:00

●場所:学習研修室1・2・3 さんかく交流サロン

### 出張美術館

**「江戸の浮世絵 入門編」**

**11月16日(日)**  
13:30~15:00

●場所:学習研修室 1・2

### パネル展

**市民活動に注目! (テーマ・団体名)**

●とき:11月15日(土)~11月30日(日)  
9:00~21:00  
※11/18(火)・11/25(火)は休館。土・日・祝日は17:00まで

●場所:高松市男女共同参画センター ふれあい交流サロン

**無料託児があります!**

**子育て中の方も、ぜひご参加ください!**

●対象講座:講演会・映画・ワークショップ ●費用:無料 **要予約**

●対象者:生後満6カ月~就学前の子ども

●申し込み:11月8日(日)までに電話で同実行委員会へ(但し初めも応相談)

**主催** 2025高松市男女共同参画市民フェスティバル実行委員会 **共催** 高松市

高松市男女共同参画センター内  
市民フェスティバル実行委員会事務局  
〒760-0068 高松市松島町一丁目15番1号  
TEL (087) 833-2282  
FAX (087) 833-2286



主催:2025高松市男女共同参画市民フェスティバル実行委員会

共催:高松市

# 目次

■目次	1
■ごあいさつ 吉田 静子 実行委員長	2
■ごあいさつ 加藤 昭彦 高松市副市長	3
■祝辞 坂下 且人 高松市市議会議長	4
■講演会 三浦 まりさん(上智大学法学部教授)	5
■映画	
○柴田昌平監督をお迎えて 長編ドキュメンタリー映画「ひめゆり」上映会(自由席)	8
○ドキュメンタリー「決断～運命を変えた3.11 母子避難」上映会(特定非営利活動法人福島の子どもたち香川へおいでプロジェクト)	
■ワークショップ	
○「教育と政治-戦後80年の“奸計”を問う」(J 女性会議高松支部)	9
○「飲酒と健康を考える」～活動と声の力～(AKK かがわ)	
○東北大震災から14年 あの大震災から生まれ変わったまちは今!!(高松市女性団体連絡協議会)	10
○議員はどんな活動をしているの?(日本BPW 香川クラブ)	
○来年のわが家の暮らし～家計簿で予算立て～(高松友の会)	11
○食育講演会「子どもをじょうぶにする食事は、時間もお金も手間もかからない」学校給食と子どもの健康を考える会香川支部	
○紙芝居・朗読・落語～見て!聴いて!やってみましょう!～(まいまい塾ネットワーク)	12
○倉敷民商弾圧事件・禰屋裁判の早期解決をめざして(日本国民救援会香川県本部)	
○親・教師のためのLD・ADHD・アスペルガー対応講演会 具体的にロールで解説(香川LD周辺児(者)親の会)	13
■自分らしさ相談&体験ブース	
■出張美術館・お笑いライブ	14
■お笑いライブ・体験ブースアンケート	
■パネル展	
○ガールスカウトは、一人ひとりの可能性を伸ばし、自分自身と人のために考え、行動します。 (ガールスカウト香川県連盟)	15
○ありのまま安心♡NEW ワールドを目指して(一般社団法人ぬくぬくママSUN'S)	
○「高松に来てよかった!」を一緒に作る、移住支援団体たかまつ「IJU」 移住支援団体たかまつ「IJU」	
○平和・友好・前進(J 女性会議高松支部)	16
○被災地から学ぶ防災～14年の活動の軌跡～(NPO 法人東北ボランティア有志の会香川)	
○善意通訳で国際交流のかけはし(香川 SGG(香川善意通訳の会))	
○わかりにくい大人の発達障害(香川LD周辺児(者)親の会)	
○吃音当事者自助団体 香川言友会ができること(香川言友会)	17
○学ぶことは生きる力、仲間を助けよう!!(香川県労働者学習協議会)	
○知って欲しい! 子どもの権利条約(香川の制服を考える会)	
○子どもをじょうぶにする食事は、時間もお金も手間もかからない!(学校給食と子どもの健康を考える会香川支部)	
○柴田昌平監督をお迎えて 長編ドキュメンタリー映画「ひめゆり」上映会(自由席)	18
○新日本婦人の会 高松支部のあゆみ(新日本婦人の会)	
○望まない改姓をゼロに!(選択的夫婦同性制度をねがう香川県民の会(ぼそぼその会))	
○各地区の活動報告(高松市女性団体連絡協議会)	
○「家庭は簡素に 社会は豊富に」を願って(高松友の会)	19
○高松話術同好会の活動紹介(高松話術同好会)	
○原発震災14年目・・・福島と香川をつなぐ(特定非営利活動法人福島の子どもたち香川へおいでプロジェクト)	
○えん罪事件の根絶をめざして(日本国民救援会香川県本部)	
○男女の賃金格差(EPD 知っていますか?)(日本BPW 香川クラブ)	20
○暮らしの中のグリーンワーク(認定 NPO 法人グリーンワークかがわ)	
○ハンセン病問題の早期解決をめざして(ハンセン病問題を考える市民の会)	
○香川プライドパレード2025を開催しました(プライド香川)	
○輝く未来のために性暴力を根絶しよう(フラワーデモ@かがわ)	21
○参画センターの講座でいろいろ学ぼう!(男女共同参画センター)	
■パネル展アンケート	
■講演会アンケート	22
■映画・ワークショップアンケート	23
■実行委員会	24
■市民フェスティバルのあゆみ1	25
■市民フェスティバルのあゆみ2	26
■アルバム	27

# ◆ごあいさつ◆

2025 高松市男女共同参画市民フェスティバル

実行委員長 **吉田 静子**



皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、「2025 高松市男女共同参画市民フェスティバル」にご参加いただき、誠にありがとうございます。また、加藤副市長、坂下市議会議長におかれましては、公務ご多忙の折、ご臨席賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

今年のテーマは「自分らしく輝く未来へ!」です。これは現役世代だけではなく、高齢者の皆様にとっても、輝く未来に向けて今日の講演や催しを糧にさせていただきたいという思いを込めております。本日から30日まで、ワークショップや映画、パネル展など多彩なプログラムを用意しておりますので、ぜひ多くの会場に足を運んでいただければ幸いです。

さて、今年は憲政史上初めて、女性の内閣総理大臣が誕生するという歴史的な年となりました。女性参政権が認められてから80年、先人である平塚らいてう氏や市川房江氏が天国でどれほど喜ばれているかと思いを馳せずにはられません。実際の国会答弁を拝見しても、どこか柔らかい雰囲気が漂い、新しい政治の形を感じております。私たちはこの歴史的な転換点を、男女共同参画の推進に向けた大きな力にしていかなければなりません。

この後、ご講演いただく三浦まり先生は、ジェンダーと政治の第一人者であり、著書『さらば男性政治』などでも鋭い分析をされています。先生のお話を通じて「ジェンダーとは何か」を深く学び、皆様それぞれの立場でこれからの活動に生かしていただけることを期待しております。本日は最後までどうぞよろしくお願いいたします。



## ◆ごあいさつ◆

高松市副市長

加藤 昭彦



皆様、こんにちは。高松市副市長の加藤でございます。市長に代わりまして、一言ご挨拶を申し上げます。秋の深まりを感じる爽やかな季節、本フェスティバルがこのように盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また、実行委員会の皆様には、日頃から男女共同参画の推進ならびに市政運営に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本フェスティバルは、11月30日まで多くの市民活動団体の皆様にご参加いただき、展示やワークショップを通じて、日頃の活動成果を披露していただく場となっております。ぜひこの機会に、各団体の意欲的な取り組みに触れていただきたいと思います。

本日の基調講演にお招きした上智大学教授の三浦まり先生は、アメリカ・カリフォルニア大学バークレー校で博士号を取得され、ジェンダー平等社会の実現や、意思決定の場における多様性の確保について研究を重ねてこられた権威でいらっしゃいます。「ジェンダーの視点でひらく、新しい政治とは」という演題のもと、多角的な視点から示唆に富む貴重なお話が伺えるものと、私も大変期待しております。

本フェスティバルを通じ、男女共同参画への理解をより一層深めていただくとともに、「誰もが自分らしく活躍できる社会」を実現するために何が必要かを、皆様と共に考える機会となれば幸いです。結びに、本催事にご尽力いただいた関係各位の皆様にご挨拶申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



## ◆ 祝 辞 ◆

高松市市議会議長

坂下 且人



皆様、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、高松市議会議長の坂下でございます。「2025 高松市男女共同参画市民フェスティバル」が、多くの団体の皆様のご協力のもと、今年もこのように盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。また、吉田実行委員長をはじめとする関係者の皆様が、日頃から男女共同参画社会の形成に向け多大なるご尽力を賜っておりますことに、深く敬意と感謝の意を表します。

現在、世界が持続可能な社会構築を目指す中、我が国においても少子超高齢社会の進展やライフスタイルの多様化など、社会環境は激変しています。こうした中、男女が互いに認め合い、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる多様性のある社会づくりは、極めて重要な課題です。本日の三浦まり先生のご講演では、若手女性の政治リーダー養成に携わってこられたご経験に基づき、ジェンダーや多様性を切り口とした新しい政治のあり方についてお話いただけると伺っております。

ご来場の皆様におかれましては、本フェスティバルを通じてネットワークを広げられ、生き生きと心豊かに暮らせるまちづくりのため、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。市議会といたしましても、皆様と共に歩んでまいり所存です。本日は誠にありがとうございます。





## 「ジェンダーの視点でひらく、新しい政治とは」 ～地域の未来をかえよう～

講師：三浦 まりさん（上智大学法学部教授）

### <プロフィール>

上智大学法学部教授。カリフォルニア大学バークレー校にて Ph.D.（政治学）取得。専門はジェンダーと政治、福祉国家論。主著に『さらば、男性政治』（岩波新書、2023 年、石橋湛山賞、平塚らいてう賞）、『ジェンダー・クォータがもたらす新しい政治：効果の検証』（編著、法律文化社、2024 年）、『政治って、面白い！女性政治家 24 人が語る仕事のリアル』（編著、花伝社、2023 年）、『私たちの声を議会へ：代表制民主主義の再生』（岩波書店、2015 年）、『日本の女性議員：どうすれば増えるのか』（編著、朝日選書、2016 年）、『ジェンダー・クォータ：世界の女性議員はなぜ増えたか』（共編著、明石書店、2014 年）など。若手女性対象の政治リーダー養成を手がける一般社団法人パリティ・アカデミー共同代表。都道府県版ジェンダー・ギャップ指数を算出する「地域からジェンダー平等研究会」主査。2021 年にフランス共和国より国家功労賞シュバリエを受章。

### <はじめに：なぜ今、ジェンダーと政治を語るのか>

2025 年、私たちは大きな歴史の節目に立っています。男子普通選挙法の導入から 100 年、女性参政権の成立から 80 年。そして、日本初となる女性総理大臣が誕生したこの記念すべき年に、高松市男女共同参画市民フェスティバルのメイン講師として、三浦まり教授（上智大学）をお迎えしました。

三浦教授は、若手女性の政治リーダーを育成する「一般社団法人パリティ・アカデミー」の共同代表を務め、2021 年にはフランス共和国より国家功労勲章を受章されるなど、日本のジェンダー平等研究を牽引する第一人者です。本講演では、最新のデータや各国の事例を交えながら、私たちの暮らしと政治がいかに密接に関わっているか、そしてなぜ「政治の場」に多様性が必要なのかが熱く語られました。

## 1. 浮き彫りになる日本の現在地：ジェンダーギャップ指数

まず示されたのは、世界経済フォーラムが発表する「ジェンダーギャップ指数」の結果です。2024 年、日本の総合順位は 146 カ国中 118 位と低迷しています。特に深刻なのが「政治分野」の 125 位です。

三浦教授は、「女性首相が誕生したことは象徴的な出来事だが、閣僚における女性比率は依然として低く、指数の算出方法から見れば劇的な改善には至らない」と冷静に分析します。特筆すべきは他国との比較です。2006 年時点では日本と同程度の順位だったフランスやイタリアは、この 20 年間で劇的に順位を上げました。これは「自然に変わった」のではなく、法律や制度を変えるという「意識的な政治努力」の結果です。つまり、日本が停滞しているのは国民の意識の問題だけでなく、変えるための仕組みが機能していないことを示唆しています。



## 2. 地域から変える：「都道府県版ジェンダーギャップ指数」の試み

日本全体の順位だけでなく、私たちの足元である「地域」はどうなっているのでしょうか。三浦教授が共同開発した「都道府県版ジェンダーギャップ指数」は、政治・行政・教育・経済の4分野で格差を可視化するものです。

香川県の分析では、行政分野での女性参画は比較的良好な数値を示している一方、経済分野に課題があることが指摘されました。三浦教授は「行政の強みを活かし、そのエネルギーを経済や民間企業での女性登用に波及させていく政策が必要だ」と具体的な提言をされました。

また、内閣府の「見える化マップ」を用いた自治会や防災会議の分析も印象的でした。香川県は自治会長の女性比率が他県より高いものの、防災会議の委員には女性が極めて少ないという現状があります。これは、委員が「職責（役職）」で選ばれるため、その元となる役職を男性が独占しているからです。災害時に避難所で必要とされる多様な視点（授乳室の設置やプライバシー確保など）を反映させるためにも、この構造を変えることは命に関わる喫緊の課題といえます。

## 3. 「さらば男性政治」：なぜ意思決定の場に女性が必要か

三浦教授の近著のタイトルでもある『さらば男性政治』。これは男性を排除するという意味ではありません。現在の政治が「健康で、異性愛者で、家族のケア（家事・育児・介護）を担わずに済む人」を中心とした仕組みになっていることへの警鐘です。

現在の意思決定層の多くは、日々の炊事や親の介護といった「ケア」の現場から遠い場所にいます。その結果、選択的夫婦別姓や同性婚、非正規雇用の問題など、多くの市民が直面している困難が「重要課題」として優先されにくい構造が生まれています。



内閣府のアンケートによれば、女性議員は出産・福祉・介護への関心が極めて高く、男性議員は地域経済や農林水産に関心が強いという傾向があります。どちらが良い悪いではなく、両方の視点が揃って初めて、血の通った政策が完成します。ケア責任を担う人々が当たり前で議会へ参加できる社会構造への転換こそが、政治を私たちの手に取り戻す鍵となります。

## 4. クオータ制とパリテ：民主主義の質を高める仕組み

女性議員を増やすための具体的な処方箋として語られたのが「クオータ制（割り当て制）」と「パリテ（男女同数）」です。「実力で選ぶべきだ」という意見に対し、三浦教授は「今の不均衡な状態こそが、実力を発揮できないバリア（障壁）がある証拠だ」と答えます。政治分野における男女共同参画推進法（2018年成立）は、候補者をできる限り男女均等にしよう政党に求める法律です。これにより、ハラスメント防止策や数値目標の設定が進み始めました。



議会改革の効果ですが、実際に女性が増えた自治体（神奈川県大磯町や茨城県取手市など）では、オンライン会議の導入、議事録の検索化、夜間議会の見直しなど、誰もが参加しやすい「開かれた議会」への改革が加速しています。女性が増えることは「目的」ではなく、硬直化した政治のバリアを壊し、誰もが声を上げやすくするための「通過点」なのです。

## 5. 政治の本質は「聞くこと」：個人的なことは政治的である

講演の終盤、三浦教授は「政治とは何か」という本質的な問いを投げかけました。「政治家の最も重要な仕事は『聞くこと』です。一人ひとりの個人の困りごとを聞き、それを制度の中に落とし込み、利害を調整することです。」

1970年代のフェミニズム運動のスローガン「個人的なことは政治的である」が今、再び重要になっています。あなたが今日感じた「育児が辛い」「将来の介護が不安」「給料が上がらない」といった個人的な悩みは、あなたの努力不足ではなく、社会の仕組み=政治の問題です。

三浦教授が関わる「パリテ・アカデミー」では、多くの若手女性たちがトレーニングを受け、政治の世界へ踏み出しています。また、編著『政治って面白い』では、実際に壁にぶつかりながらも、一歩ずつ社会を変えていく女性政治家たちの生き生きとした姿が描かれています。政治は、決して自分たちから遠い場所にある特別なものではなく、自分たちの暮らしをより良くするための「面白い仕事」であり、日常の延長線上にあるものなのです。

### <結びに代えて：市民一人ひとりができること>

アイスランドなど、ジェンダー平等の先進国も、かつては日本と同じような状況でした。それを変えたのは、女性たちのストライキや、粘り強い市民の声でした。日本にも、各分野で道を切り拓いてきたパイオニアが数多くいます。そのバトンを次世代に繋いでいくのは、今を生きる私たち市民の役割です。

講演の最後に紹介された映画『女性の休日（原題：Long Holiday）』のように、時には立ち止まり、社会の当たり前を疑ってみること。そして、小さなことでも声を上げ続けること。「女性議員が増えることとジェンダー平等が進むことは、必ずしもイコールではありません。議員が増えた後、その政策が本当に平等を推進しているかを市民がチェックし続け、声を届け続けることが重要です」

三浦まり教授の言葉は、政治を「お任せ」にするのではなく、自分たちのものとして引き受ける勇気を与えてくれました。誰もが自分らしく、ケアも仕事も諦めずに済む社会。そんな「新しい政治」を、ここ高松から、私たち一人ひとりの手で創っていきましょう。





## 柴田昌平監督をお迎えして 長編ドキュメンタリー映画「ひめゆり」上映会

■日 時 11月22日(土)①10:00~12:40  
②13:30~16:10

■場 所 学習研修室1・2・3

■団体名 自由席

■参加者 83名



自由席としては、久しぶりの上映会。まずはチラシを作成、多くの人に知ってもらうために配る。平和とか人権について活動をしている女性団体にも声をかけた。チラシは最初 2000 枚作ったが、追加して最終的には 3500 枚を作成。チラシを配るだけでなく、SNS も使って広報した。

柴田昌平監督をお迎えしての上映会、時間をかけてひめゆり学徒ご本人の記憶を話してもらい記録したこのドキュメンタリー映画、心に残るものになったと確信している。「約20年前の映画ということで、生存者の方々も今はもう語るができなくなっている方もいることでしょう。戦争へ向かおうとしている今だからこそ、とても大切な証言で、大事な映画だと思いました。子どもたちに観て欲しいです」という参加者の感想があった。「戦争は一旦はじまると止められない!」

## ドキュメンタリー

### 「決断～運命を変えた 3.11 母子避難」上映会

■日 時 11月29日(土)13:30~15:30

■場 所 学習研修室3

■団体名 特定非営利活動法人福島の子どもたち  
香川へおいでプロジェクト

■参加者 32名



原発事故により人生最大の「決断」を迫られた、ある 10 家族の証言。(以下は参加者の感想)

「当時の記憶がよみがえった。風化させないためにもよい機会になった」「無関心の罪に気づかされた」「避難家族の大変さは他人事じゃない。原発ゼロにしたい」「自分ならあんな勇気ある行動・考え方ができるだろうか、福島のお母さん方に感動した。四国もいつ地震が起きるかわからない。覚悟が必要!」「それぞれの人生のギリギリの選択、その人たちが今置かれている状況に思いを寄せ、現実を忘れてはいけないと強く思った」「最後の弁当の話がすべてを語っていた。福島の人々の強さ、支え合いを知り、力を頂いた」「3.11 の記憶が忘れ去られようとしている昨今、当事者の顔を見るとこのままでよいのかと考えさせられる」など多数。



## 「教育と政治—戦後 80 年の“奸計”を問う」

- 日 時 11月16日(日)10:00~12:00
- 場 所 学習研修室3
- 団体名 J女性会議高松支部
- 参加者 21名



講師の饗場先生は、2019年にも「アジア太平洋戦争の描かれ方～良い学習漫画を選ぼう～」と題して講演をいただきました。先生は一貫して、戦後の教育問題に取り組んでおられます。

「教育とは何か」から始まり動物との違い、本来どうあるべきかなど詳しく話されました。日本の現状や世界との比較など、豊富なデータを資料として示して説明されたので、「何回かに分けて聞きたいもの」「奸計の意味が分かった」「選挙で考えたい」など、「大変良かった」との多くの感想が寄せられました。参加人数は多くはなかったのですが、「新しい戦前」とも言われている現在を考えると、示唆に富んだ内容だ、と有意義なワークショップになりました。

## 「飲酒と健康を考える」～活動と声の力～

- 日 時 11月16日(日)13:00~15:00
- 場 所 学習研修室3
- 団体名 AKK かがわ
- 参加者 16名



今回は天候に恵まれ出足は良好であった。前回に引き続きのテーマで実施した。集まってくださった方々は中堅どころの年齢層であり少ないながらも会場が熱気であふれていた。

パワーポイントでの飲酒に関する基礎的な説明から飲酒が及ぼす家族への弊害、対人関係に及ぼす歪み、地域、延いては政治への弊害に及ぶことについても考えさせられる内容であった。個人と環境のことをしっかりと考えながら、小さな積み重ねから大きな輪を大きく描き、自分色に輝くことが社会貢献にもなるものだと考えさせられた。

# ワークショップ②

## 「東北大震災から14年

### あの震災から生まれ変わったまちは今！！

- 日時 11月21日(金)10:00~12:00
- 場所 学習研修室1・2・3
- 団体名 高松市女性団体連絡協議会
- 参加者 69名



震災から14年、震災前と震災後のスライドを見ながら、当たり前に見えていた風景が変わっていく様子、また、人の感情にも変化が出てきたことを聴かせて頂きました。震災直後には被災者の命を守るために炊き出しをし、女性目線の避難所運営に協力し、女性が犯罪被害にあわないように心配りをしたようです。やはり避難所生活においては婦人会組織が積極的に関わった方が良いと思いました。

## 議員はどんな活動をしているの？

- 日時 11月23日(日・祝)13:30~15:30
- 場所 学習研修室1・2
- 団体名 日本BPW香川クラブ
- 参加者 9名



まず、議員に立候補した経緯やいきさつ、現在の活動の具体的説明をしてもらい、実際の議員の実像を確認した。

そのあと、ジェンダーギャップ指数の説明。特に政治の分野での男女平等の偏りの状況を確認。諸外国では女性議員の割合は増えているが日本では横ばい。政党別の立候補者・当選者の男女比を確認。地方議会でも女性議員の割合はまだまだ少ないが近年増加傾向。今年は男性議員も交えて、議会の歴史的変化も説明。女性議員が増えたら、議題に変化があり野次も減少してきた。しかし、もっと議会や政治への関心が深まることが重要で、このような機会は継続していくことが必要。特に参加者からもっと多くの人に関心を持つことが重要で来年度の参加者増が宿題となった。

# ワークショップ3

## 来年のわが家の暮らし～家計簿で予算立て～

- 日 時 11月24日(月・振休) 10:00～12:00
- 場 所 学習研修室1・2
- 団体名 高松友の会
- 参加者 29名



参加者全員で自己紹介をし、家計簿をつけ始めたきっかけなどを話した。今年の10カ月決算の感想も話した。引越しをした人や教育費が多くかかった人など実際の金額を見ながら皆で話し合った。子どもが大学生になった頃の教育費の多さに驚かれた人もいた。

また、展示を見ながら今年度勉強している防災トイレや0次携帯など、婦人之友や明日の友の掲載箇所も紹介した。パネル展にも展示していることもお知らせした。ウィッシュリストを書いて自分や家族の願いも書き出すことによって希望を持って来年の予算が立てられる紹介もした。残りの時間を使って参加者それぞれ分かれて会員がマンツーマンで付いて家計簿に取り組んだ。

## 食育講演会

### 「子どもをじょうぶにする食事は、時間もお金も手間もかからない」

- 日 時 11月26日(水) 10:00～12:00
- 場 所 学習研修室3
- 団体名 学校給食と子どもの健康を考える会香川支部
- 参加者 24名(他スタッフ6名)



「粗食のすすめ」「子どもが野菜嫌いで何が悪い!間違いだらけの食育ブーム」などの著者・幕内秀夫氏を招いての食育講演会を開催しました。香川県が実施している小中学生の血液検査の結果は、毎年「過去最悪」との見出しと共に新聞で発表されています。幕内氏は「おかずの間違いで子どもが脂肪肝までなることはない。主食・飲み物が大きな要因だ」と説明してくれます。そして「子どもはちゃんと分かっている。分かっているのは大人の方だ」とも。食べることは生きること。単純であるはずの「食」が情報によって難しく捉えられている今だからこそ、聞いてほしい講演会です。

聴講者の声「大切なことは簡単なことだと気づかされ、肩の荷がおりた」「もっと早く知りたかった」等。

# ワークショップ④

## 紙芝居・朗読・落語

～見て！聴いて！やってみましょう！～

■日 時 11月29日(土) 10:30～12:00

■場 所 学習研修室1・2

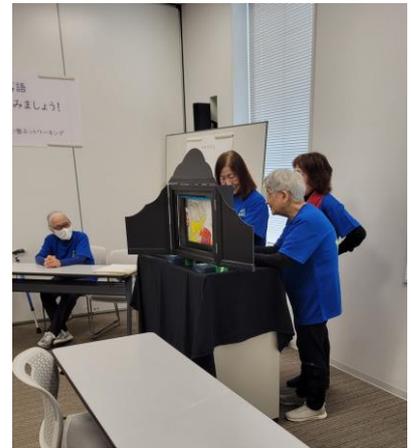
■団体名 まいまい塾ネットワーキング

■参加者 10名

今回は「見て！聴いて！やってみましょう！」というテーマで開催しました。

①お口の体操「あいうえお」②紙芝居の実演「たいへんなわすれもの」「ねずみのよめいり」③朗読の実演「鹿ノ井川の大なまず」「西のさお(西の沢)のあずき洗い」④「きびだんご」「ますおとし」等の朗読

まず、意外と出来ない「あいうえお体操!」。自分の苦手な行を発見したり1行飛ばしたり、大笑いでお口の準備体操からスタートしました。毎月県立図書館で実施しているグループによる紙芝居の実演は、観る側・やる側共に楽しく盛り上がりました。朗読の実演は聴き手の頭の中でいきいきと情景が浮かび、物語に引き込まれました。最後に短い文の朗読。全員参加でとても有意義なワークショップになりました。



## 倉敷民商弾圧事件・禰屋裁判の早期解決をめざして

■日 時 11月29日(土) 13:00～15:00

■場 所 学習研修室1・2

■団体名 日本国民救援会香川県本部

■参加者 47名

倉敷民商の事務局員、禰屋町子さんに対する428日間の拘留、脱税ほう助容疑・税理士法違反容疑での起訴。

「普通のおばちゃん」を自称する禰屋さんは、428日間の拘留に耐え抜き、起訴後も弁護団、支援する全国の仲間の力に支えられ、無実を訴えています。

広島高裁岡山支部の差し戻し審・岡山地裁での証人尋問で広島国税局木嶋査察官の「国税局は告発していない。禰屋さんは参考人です」との証言。則武弁護士は「脱税したとされるI建設はパソコンも押収されず起訴もされていない。倉敷民商が自宅捜索でパソコン9台が押収され、脱税事件と関係のない会員名簿などが押収されている。明らかに民商への弾圧事件である。」とまとめられました。



# ワークショップ5

## 親・教師のためのLD・ADHD・アスペルガー 対応講演会～具体的に～ロールで解説～

- 日 時 11月30日(日)13:30～16:00
- 場 所 学習研修室1・2・3
- 団体名 香川LD周辺児(者)親の会
- 参加者 79名



毎年しているロールプレイは、会場からの要望テーマで、即興で効果的対応を次々に演じ、講師の野崎晃弘教授(四国学院大学)が解説するという形です。今回は特に当事者の参加が多かったため、普通の講演と違って戸惑いもあったようです。2回以上参加している方は、毎回違うロールプレイなので、家庭や現場で役に立つという声が多かったです。逆効果言葉や効果的言葉の一覧表を配布したので、「職場で役に立ちます」という声も聞かれました。

## 自分らしさ相談& 体験ブース



### 「ソルトグラスアートを作りました」

- 日 時 11月15日(土)10:30～12:00
- 場 所 学習研修室1・2・3
- 団体名 ガールスカウト香川県連盟
- 参加者 25名

絵の具でカラフルに色づけした塩を重ねてつくる『ソルトグラスアート』のワークショップ参加費は無料。できた作品は持ち帰っていただきました。クリスマスカラーの塩と、手作りのツリー・雪だるま・ポインセチア等でデコレーションを楽しみました。



#### 【自分らしさ相談&体験ブース 全体の感想】

初開催の「体験ブース」では、「自分らし」の相談や体験をテーマに、登録団体に加え、趣旨に賛同する外部団体も多数出展しました。多様な専門性を持つ団体がブースを構えたことで、来場者が「自分らしさ」を見つめ直すきっかけとなりました。また、地域活動を行う団体同士の横のつながりが強化されるとともに、市民と団体の新たな出会いの場にもなりました。お笑いライブ同様に、「センターの存在を初めて知った」「初めて来館した」という声も寄せられ、地域の方々にセンターを身近に感じていただく大切な機会となりました。多様な活動に触れる体験を通じ、温かなつながりが生まれる場となりました。

# 出張美術館



## 「江戸の浮世絵入門編」

- 日時 11月16日(日)13:30~15:00
- 場所 学習研修室1・2
- 講師 石田 智子さん(高松市立美術館学芸員)
- 参加者 24名



出張美術館も今回新たな試みとして実施された企画です。  
大河ドラマの影響もあり、江戸時代前期に始まり、明暦の大火後の江戸復興期に庶民の文化として発展した浮世絵の成り立ちに興味を持った方が、たくさん参加してくださいました。

(参加者の感想)

「知識も付き、何枚か実際に見せてくれたので楽しかった」「浮世絵の知識の点と点がつながり、とても理解できた」など。

## お笑いライブ

- 日時 11月15日(土)10:00~11:00
- 場所 たかまつミライエ 1階 多目的室
- 参加者 103名



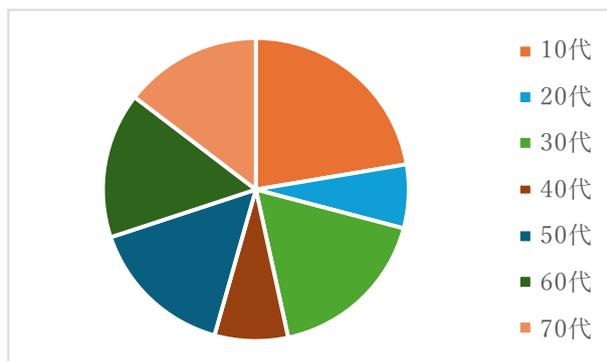
新たな試みとして実施した「お笑いライブ」では、県外でも幅広く活躍する本読亭魚之輔氏や二者面談、そして香川大学お笑いサークルから選抜された4組が出演しました。

このステージは、男女共同参画という一見堅苦しく捉えられがちなテーマを、笑いを通じて日常の「自分事」として再発見してもらうことを目的に実施したものです。これにより、フェスティバルには足を運ぶ機会の少なかった新規層や若年層の参加を促す大きなきっかけとなりました。会場は温かな笑いに包まれ、楽しみながら多様性への理解を深める新たな啓発の形を提示できました。

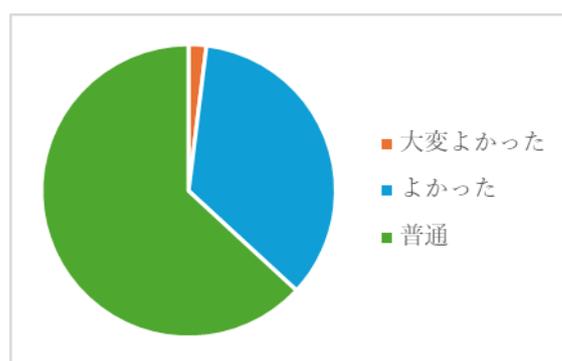
### 【お笑いライブ・体験ブースアンケート】

参加者数:308人  
アンケート回答数 103人

参加者の年代



参加者の感想



### <参加者の感想>

- お笑いライブ初めて参加しましたが、とても面白かったです。地元でたくさんの方が活躍されていて嬉しいです。
- お笑いライブ、どのグループも本当に面白かったです。初めてお笑いライブをみました。これから応援していきたいです。
- 楽しい企画をありがとうございました!もっと多くの人に知ってもらいたかった。等多数。

## パネル展Ⅰ(動画)



★ガールスカウトは、一人ひとりの可能性を伸ばし、自分自身と人のために考え、行動します。(画像)

■団体名 ガールスカウト香川県連盟

ガールスカウトは少女から成人まで『自ら考え、行動する人』を育てます。

今年はモニターで動画を流しました。立ち止まって見てくださる方もいて、良さを実感しました。来年は団体のQRコードも貼付しようと思いました。



★ありのままで安心♡NEWワールドを目指して (画像)

■団体名 一般社団法人

ぬくぬくママSUN'S



ぬくぬくママ SUN'S の活動内容を紹介するスライドを作成し、2025年度市民フェスティバルにパネル展示で参加しました。今年度はスライドを動画として流す初の試みとなり、活動の様子や想いをより分かりやすく届けることができました。当日はワークショップも実施し、多くの方に来場いただき、足を止めてパネルをご覧いただいたことに心より感謝申し上げます。地域とのつながりを深める貴重な機会となりました。

★「高松に来てよかった!」と一緒に作る、移住支援団体たかまつ「IJU」(画像)

■団体名 移住支援団体たかまつ「IJU」

私たちは移住・転勤・結婚・就職・進学など県外から高松に引っ越してきた方たちが地域とスムーズに繋がれる様にサポートしている団体です。

今年度は瀬戸内国際芸術祭 2025 にみんなで計画して行った様子をパネル展示(動画)で紹介しました。皆さんに活動を知っていただく貴重な機会をありがとうございました。



# パネル展 2



## ★平和・友好・前進

■団体名 J女性会議高松支部

最初に例年と同じく、女性会議の「J」は私・目・友愛を表す、と記しました。次に、今年重点的に取り組んだ、「困難女性支援法」について報告しました。各自治体への調査を行った事や、毎月取り組んでいる早朝チラシ配布で訴えたことなども、提起しました。

その他、毎年とりくんでいる「被爆地に千羽鶴を送る」活動や、県議会に対して「選択的夫婦別姓」に関して“旧姓使用の拡大”へのすり替え反対の要請行動も提示しました。多くの人に見ていただいて、嬉しく思いました。



## ★被災地から学ぶ防災

～14年の活動の軌跡～

■団体名 NPO 法人東北ボランティア有志の会香川

2011年の東日本大震災で被災された方々の復興の応援をするため、団体を立ち上げて15年。当初はボランティアバスツアーを企画しての団体ボランティアでしたが、最近では少人数で東北訪問を継続しながら交流を重ねています。

その後、熊本や西日本豪雨等の災害復旧支援なども行い、今年度も能登に訪問をしました。



## ★善意通訳で国際交流のかけはし

■団体名 香川 SGG (香川善意通訳の会)

栗林公園、直島など観光地で予約を受けてボランティアガイドに取り組んでいます。2025年は、インバウンドの増加や瀬戸内国際芸術祭で、ガイド依頼も増加しました。

そのガイドの様子をはじめ、団体としての活動内容を写真パネルで紹介させていただきました。今回のパネル展示を通じて、香川SGGへのご理解を深めていただき、ご興味がある方のご入会につながれば幸いです。



## ★わかりにくい大人の発達障害

■団体名 香川 LD 周辺児(者)親の会

職場からの相談事例が会に寄せられることが多いです。アスペルガー、ADHD、LD など知的遅れが無いので周囲もわからず、逆な対応をしていることもあります。

今回は、幼児から大人までの効果的対応のイラストを展示しました。「小学生にかしこいね。かわいいね」の声かけは、「なぜ効果的ではないのか？」の質問にも具体的な言葉を添えるようにと解説しました。



# パネル展 3



## ★吃音当事者自助団体 香川言友会 ができること

### ■団体名 香川言友会

香川言友会は、どもって思うように言葉が出ない吃音のある人の自助団体です。例えば「こここんにちは」(連発)、「こ——んにちは」(伸発)、「……こんにちは」(難発)といった症状があります。からかわれたり、奇異な目で見られたりした経験から、社交不安症になる人もいます。

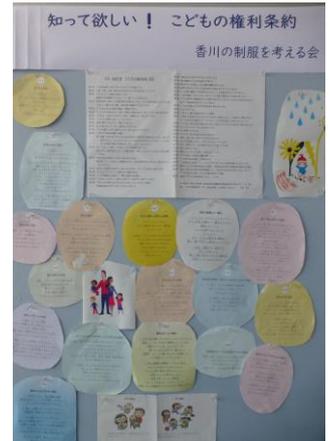
今回のテーマは、吃音で今困っている人から見て、香川言友会は何ができるのだろうか？。それを伝えようと、「香川言友会ができること」としました。



## ★知って欲しい！ こどもの権利条約

### ■団体名 香川の制服を考える会

戦争や内乱で、子どもの権利が侵されていることが多いです。また、近年子どもの“甘やかし”、“しつけ”、“権利”の混同対応も目にします。中学生用に訳された条例と小学生にもわかるイラストを展示しました。



## ★学ぶことは生きる力、仲間を助けよう!!

### ■団体名 香川県労働者学習協議会

香川県学習協です。パネル展への参加は6回目になります。今年も私たちの“学びの道具”を展示させていただきました。

宣伝物のチラシは見るだけでわかりますが、学習情報誌である「学習の友」を、実際に何人の方に手にとって読んでいただけたかが最も気になるところです。

今年は変化がありました。撤去の時に、学習の友が2冊なかったのです。興味のある方は岩野(090-6288-7596)までご連絡ください。一人でも多くの方に読んでいただきたいです。



## ★子どもをじょうぶにする食事は、 時間もお金も手間もかからない!

### ■団体名 学校給食と子どもの健康を 考える会香川支部

私たちは、発足以来ずっと同じことを訴え続けています。食べることは生きること。生命の基本の基本が難しいはずがない。「食」は簡単なことであり、赤ちゃんにだって何が必要か分かっている。そんなことを、皆さんにお伝えたく、25年以上にわたって講演会を開催しております。

パネル展では、講演会の案内やボランティアスタッフの思いを紹介しました。



# パネル展4



## ★柴田昌平監督をお迎えして 長編ドキュメンタリー映画「ひめゆり」上映会

■団体名 自由席

展示はシンプルに。11月22日の上映会のチラシを大きくしました。

その他に、国会議員の問題発言についての新聞記事、ひめゆり学徒の最後の語り部の新聞記事の二つの記事を掲示しました。



## ★新日本婦人の会高松支部のあゆみ

■団体名 新日本婦人の会

(1) 新日本婦人の会の目的を紹介しました。

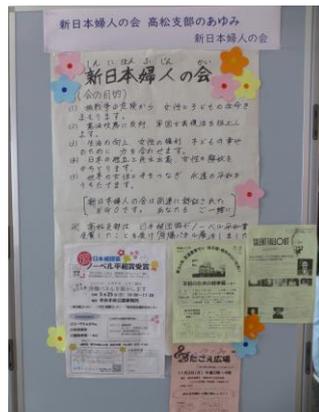
(2) 本年度実施した内容の紹介をしました。

昨年末、日本被爆者団体協議会がノーベル平和賞を受賞しました。

高松支部では、広島の高中生が被爆者に聞いて書いた絵をパネルにして展示し、平和の大切さを伝えました。

(3) パネル展で私達の活動が少しでも周知されたらとよいと思っています。

(4) 私達も他の人達の活動を知り、共にさまざまな角度から社会を良くするために頑張っていこうと再確認をしました。



## ★望まない改姓をゼロに！

■団体名 選択的夫婦同姓制度をねがう香川県民の会（ぼそぼその会）

「望まない改姓をゼロに！」をスローガンに、選択的夫婦別姓についての理解を広めました。SNSを中心に、「戸籍が壊れる」「旧姓使用で十分」などのデマや誤解が流布している現実があり、パネルを通じて見た人が周囲に誤解を解いていくアクションができることをめざし、Q&A形式で展示しました。

見て下さった方が、一人でも多く、選択的夫婦別姓について日常で話題にし、誤解を解き、必要性を訴えてくれるよう願っています。



## ★各地区の活動報告

■団体名 高松市女性団体連絡協議会

高松市女性団体連絡協議会の各地区活動の様子です。各地区が一年間の活動計画に添って、地域の中で活動しています。毎年恒例の行事もありますが、地域の方々がたくさん参加することにより、地域の輪が広がっているように思います。

今後の課題としては、新しい活動内容を考えながら、現行の行事も丁寧に進めていけたらと思います。各地区・地域の一人一人に女性会（婦人会）の活動を知っていただけたら幸いです。



# パネル展5



## ★「家庭は簡素に 社会は豊富に」を願って

### ■団体名 高松友の会

高松友の会は、「婦人之友」「明日の友」の愛読者の集まりです。30歳から101歳までの会員が楽しく元気に集い、家計・衣食住などの家事・SDGs・子育て・シニアの生活などを学んでいます。簡素でも心豊かな家庭生活を目指し、一人一人の小さな意識が豊かな社会に繋がることを願って活動しています。

手作りの会や縫う会など楽しい行事もあります。「高松友の会」で検索すると毎月の日程が出てきます。皆さまの参加をお待ちしています。



## ★高松話術同好会の活動紹介

### ■団体名 高松話術同好会

パネル展では高松話術同好会の活動内容を紹介しました。合わせて、新入会員の募集を行いました。高松話術同好会は、例会を月に2回、会費無料で行っています。詳しい活動内容は、下のホームページにて紹介していますので、ぜひご覧ください。

<https://takamatuwajyutu.com/blog/hp/>



## ★原発震災14年目・・・

### 福島と香川をつなぐ

■団体名 特定非営利活動法人福島の子どもたち香川へおいてプロジェクト  
福島の子どもたちを香川に迎えて活動することによって福島の状態に関心を持ち、福島で起きたことを他人事と思わない人たちの輪をこの香川の中に広げ、息の長い被災地支援につなげていこうと活動を始めてから、早くも14年の月日が流れました。

今回のパネル展では、毎年開催している写真展やこの活動を通じて、福島の子どもたちとつながったホストファミリーのボランティアさんの思いや保養に参加した子どもたちの元気な写真のパネルを展示しました。



## ★えん罪事件の根絶をめざして

### ■団体名 日本国民救援会香川県本部

静岡県 の袴田事件、福井県の女子中学生殺人事件など、再審無罪の冤罪事件が後を絶ちません。私たちは、警察・検察の持っている証拠の全面開示を求めています。膨大な開示されていない証拠の中に「無罪推定原則」の証拠が含まれている可能性が大きいのです。

また、再審開始の決定が出た後、検察の即時抗告や特別抗告を禁止すべきです。再審を求めて必死で証拠を集め、再審の決定を勝ち取っても、検察の抗告で、また振出しに戻ってしまうのです。



# パネル展 6

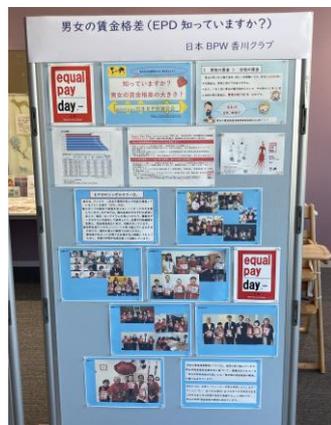


## ★男女の賃金格差 (EPD 知っていますか?)

■団体名 日本 BPW 香川クラブ

パネル展の内容は、EPD (イコール・ペイ・デイ=男女が同じ賃金を手にする日) についての説明です。今年が4月27日になることの計算式や賃金格差の理由 (経験年数と職階)。EPDのPRと格差是正の方策などです。

より多くの人に知ってもらうことが重要で、今年も啓発用の缶バッチを独自に作成しました。話題提供として有効だと考えています。認知度は深まってきましたが、今後とも活動を継続していくつもりです。



## ★暮らしの中のグリーンワーク

■団体名 認定NPO法人グリーンワークかがわ

グリーンワークかがわの主な活動と、これまでのあゆみと目指すものを紹介し、「グリーンワーク」についての解説を掲載しました。特に子どものグリーンワークに係る啓発と相談事業についての展示を行いました。

3月には子どものグリーンワーク週間として、街頭キャンペーンを毎年行っています。幼い子どもたちも暮らしの中で喪失を経験していることに気づいてほしいという思いで、パネル展に参加しました。



## ★ハンセン病問題の早期解決をめざして

■団体名 ハンセン病問題を考える市民の会

「癩予防二関スル件」施行以降、強制隔離・絶滅を基本とした国の方針に抗って通院治療を実行した“小笠原 登医師”。カルテの病名をハンセン病とは書かず、皮膚炎などと記載していました。また、愛知県海部市甚目寺町にあった“圓周寺”でも診療を行っていました。

ハンセン病についての3つの迷信①不治の病②遺伝病③激しい伝染病。これらの迷信が、患者やその家族を苦しめています。迷信に基づく、ハンセン病対策は改めるべきです。



## ★香川プライドパレード 2025 を開催しました

■団体名 プラウド香川

2025年11月3日に開催した「香川プライドパレード2025」を写真と新聞掲載記事で紹介しました。参加者の表情や歩行の様子、当日の盛り上がり記録した写真を掲示し、多くの方にパレードの意義を知っていただく良い機会となりました。

パネルを見た人々からは、「地域の変化を感じる」「次は参加したい」といった声が寄せられました。



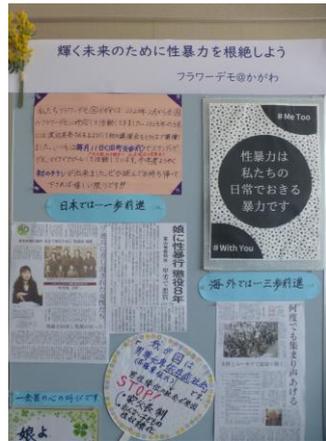
# パネル展 7



## ★輝く未来のために性暴力を根絶しよう

### ■団体名 フラワーデモ@かがわ

国内で初めての、親(父)子(娘)間の性暴力性虐待に有罪判決が下りました。また、日本では「黒川の女たち」のドキュメンタリー映画が、海外ではアイスランドの女性たちのドキュメンタリー映画「女性の休日」が話題となりました。現在、ジェンダー平等世界一となったアイスランドでも、一挙に達成することはできず、何回もストライキを行い声を上げ続けています。私たちがこれを見習い、声を上げ続けて一歩ずつ前進していきたいと強く思いました。“ローマは1日にして成らず”です。



## ★参画センターの講座でいろいろ学ぼう！

### ■団体名 高松市男女共同参画センター

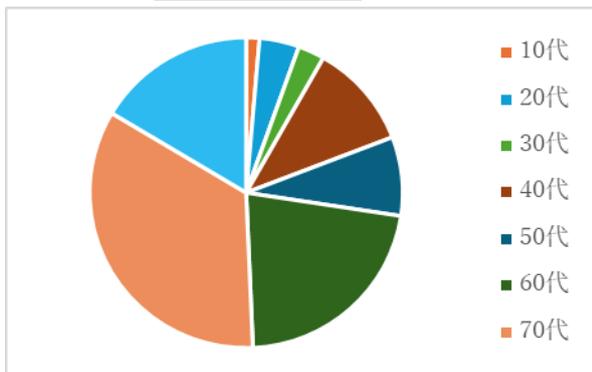
当センターでは、数年前から、「防災講座」「鉄道模型展」「市民企画講座」「さんかく交流サロン」「就労支援講座」「こころとからだの健康講座」などを毎年開催しています。今年度は、「シニア世代のくらし安心講座」を新たに開催しました。これからもシニア層が増え続けるため、こういった講座にも、もっと力を入れていき、今後もたくさんの市民の方々に来ていただけるような男女共同参画センターにしていきたいと考えています。



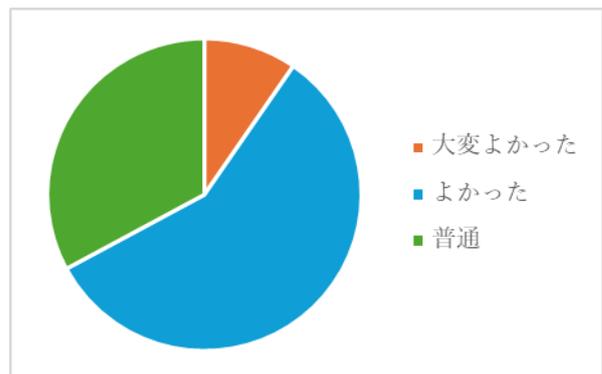
## 【パネル展アンケート】

見学者数: 1,299人  
アンケート回答数73人

見学者の年代



見学者の感想



### <見学者の感想>

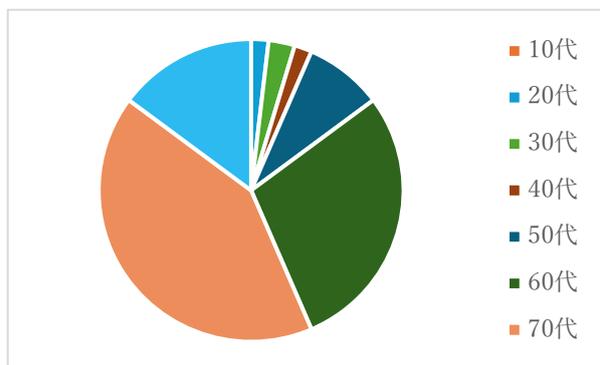
- パネル展では様々な団体の活動を知ることができてよかったです。
- ゆったりと見学できました。ありがとうございました。
- 選択的夫婦別姓のパネル展を見て、理不尽な理由で反対されているのは放置できない問題だと思いました。私も今の名字に愛着を持っているので、制度が実現されて欲しいです。
- 写真等のパネルが見やすく、分かりやすかったです。



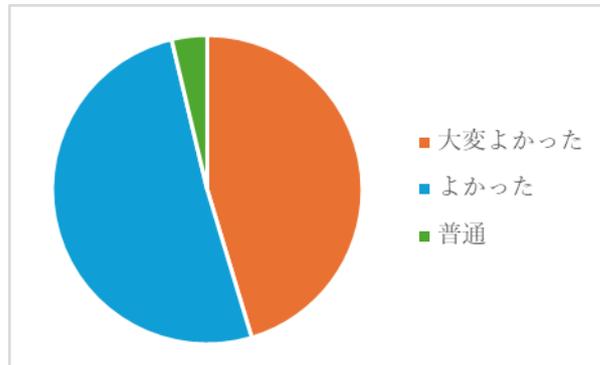
## 【講演会アンケート】

参加者数:108人  
アンケート回答数93人

参加者の年代



参加者の感想



### <参加者の感想>

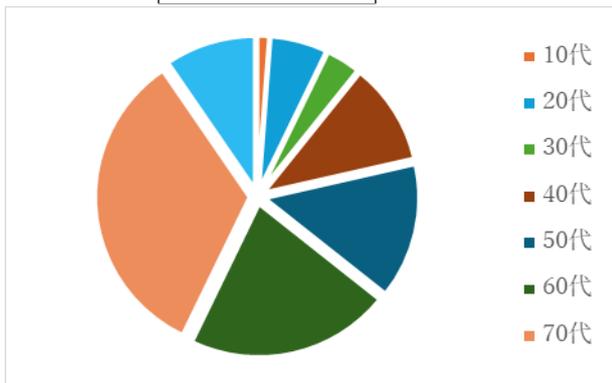
- 三浦先生のお話はとても面白かったです。男女、家族(夫婦)、議員の交代、政治の在り方など、大きく流れが変わる時が来ていると思います。
- 政治に関わる事の大切さを改めて感じた。声をあげれば社会が変わる。私も同感です。地道に行動をしようと思います。
- 三浦先生の個人的な生活が政治的であり、社会を変えることが個人的なことに繋がるということが印象に残りました。
- 話が分かりやすく、きっちりとよくまとめられていました。こういう企画をどんどんお願いします。
- 非常に明快で問題点をびしりと述べてくれた。男性構造社会の中にいることに無自覚ではなく、気づき、変えていきたい。
- ジェンダーの事を考えるのは大事だと思いました。自分にできる事が何か、考える努力をします。
- めちゃくちゃおもしろかったです。本当に勉強になりました。あまり政治に関心のない人にも絶対に届く講演だと思います。
- 内容は普段聞ける話ではなかったので、勉強になりました。
- ジェンダーと政治について深く話をうかがうことができました。
- 資料、数字など具体的な指標でわかりやすかった。
- 初参加でしたが、勉強になりました。
- 新たな視野が開けました。
- 歯切れのよい早口で、盛り沢山の内容で、微々細々多方面からのお話がありがたかった。



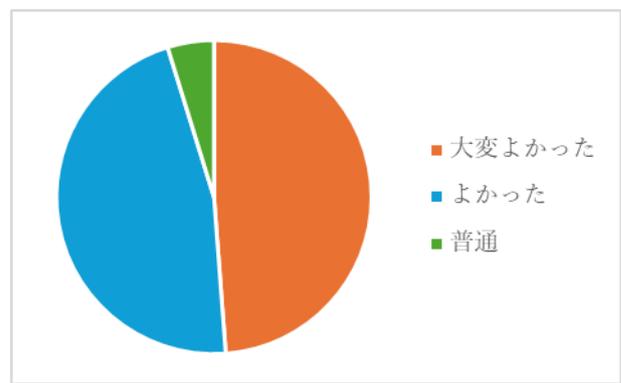
## 【映画・ワークショップアンケート】

参加者数:84人  
アンケート回答数:78人

参加者の年代



参加者の感想



### <参加者の感想>

#### ●柴田昌平監督をお迎えして 長編ドキュメンタリー映画「ひめゆり」上映会

20年前の映画ということで、生存者の方々も今はもう語りができなくなっている方もいることでしょう。今だからこそ、とても大切な証言で大事な映画だと思いました。子どもたちに見て欲しいです。

#### ●ドキュメンタリー「決断～運命を変えた3.11 母子避難」上映会

たくさんのエピソード、実際にあったこと、現実にいる人が登場して声に出して言われていたことに感動しました。

#### ●「教育と政治―戦後80年の奸計を問う」

とてもわかりやすかったです。教育がいかに大事か改めて考えました。

#### ●「飲酒と健康を考える」～活動と声の力～

わかりやすい説明で、とても良かったです。ありがとうございました。

#### ●東北大震災から14年 あの震災から生まれ変わったまちは今!!

今まで人生も含めて、心の深いところも垣間見せてもらえて、ありがとうございました。

#### ●議員はどんな活動をしているの？

「議員は何を…」で紹介された映画を見て、女性のたおやかな周りを巻き込んでのストライキが大変頼もしかったです。

#### ●来年のわが家の暮らし～家計簿で予算立て～

家計簿をつけていると、自分の生活がわかっていいと思いました。

#### ●食育講演会「子どもをじょうぶにする食事は、時間もお金も手間もかからない」

「30品目の栄養を摂らなければいけないという考えに囚われていましたが、講師のお話をお聴きして、すごく気が楽になりました。ありがとうございました」

#### ●紙芝居・朗読・落語～見て!聴いて!やってみましょう!

言葉を発すること、日常との変化を楽しみ、参加することで色々なことに気づかされました。

#### ●倉敷民商弾圧事件・禰屋裁判の早期解決をめざして

今回の禰屋さんのお話を聞いて、確定申告書作成時の相談にも不安を持つようになりました。

#### ●親・教師のためのLD・ADHD・アスペルガー対応講演会～具体的にロールで解説～

日々の保育で、場面よっての対応の仕方や考え方を改めて再認識できたり、発見したり、とてもいい勉強になりました。



# 実行委員会

## 2025 高松市男女共同参画市民フェスティバル実行委員名簿

(団体名 氏名)

♀女性会議高松支部 宮本宏子/移住支援団体「IJU」 若林友美/NPO 法人ぬくぬくママ SUN`S 松井実紗子/  
AKK かがわ 後藤見知子/NPO法人高松男女共同参画ネット 松田光世//NPO 法人東北ボランティア有志の会香  
川 藤井節子/香川 SGG 大森康正・梶久夫・湯井克子/香川LD周辺児(者)親の会、香川の制服を考える会 井本久  
美子/香川言友会 佐々木雅彦、池田公人/香川県労働者学習協議会 岩野正光/香川公務公共一般労働組合・全  
日本年金者組合香川県本部 田中金春/学校給食と子どもの健康を考える会香川支部 大佛早苗/ガールスカウト香  
川県連盟 山田敏恵/こころとからだゆるゆるクラブ 佐々木ゆかり/新日本婦人の会高松支部 東條恵津子/自由席  
湯浅文代/手話サークルひびき 高根沢充代、長谷川節子/選択的夫婦同姓をねがう香川県民の会(ぼそぼその会)  
山下紀子/高松市女性団体連絡協議会 吉田静子、岡下照子/高松友の会 畠山恭子/高松話術同好会 安達俊彦  
/特定非営利活動法人福島の子どもたち香川へおいてプロジェクト 渡辺さと子/日本キリスト教婦人矯風会高松支部  
里見恵子/日本国民救援会香川県本部 酒井光雄、藤田茂/日本 BPW 香川クラブ 岡内須美子、白井智英美/認定  
NPO法人グリーンワークかがわ 杉山洋子/ハンセン病問題を考える市民の会 酒井光雄/プラウド香川 藤田博美/  
フラワーデモ@かがわ 河野明美/まいまい塾ネットワーク 新田律子/魅力ある高齢社会をつくる香川の会 上枝  
秀則

★託児ボランティア協力者 井口真美、阪井久美子、住瀬範子、多田麻里子、田村敬子、松本久美子

(登録団体名簿順、五十音順、敬称略)

### <実行委員会活動> 令和7年度

#### ●実行委員会

○第1回 7月5日(土) ○第2回 8月9日(土) ○第3回 9月6日(土) ○第4回 10月4日(土)

#### ●企画総務委員会 8月2日(土)10:00~

#### ●講演会準備 11月15日(土)12:00~

#### ●市民活動・交流パネル展準備 11月14日(金)9:00~・撤収 12月1日(月)9:00~

### 1. 開催期間 令和7年11月15日(土)~11月30日(日) \*11月18日(火)・25日(火)は休館

- ・講演会 11月15日(日)(たかまつミライエ1階 多目的室)
- ・映画・ワークショップ 11月15日(土)~30日(日)(たかまつミライエ6階 高松市男女共同参画センター)
- ・市民活動・交流パネル展 11月15日(土)~30日(日)(高松市男女共同参画センターふれあい交流サロン)
- ・お笑いライブ 11月15日(土)10:00~11:00 (たかまつミライエ1階 多目的室)
- ・自分らしさ相談&体験ブース 11月15日(土)10:30~16:00(高松市男女共同参画センター学習研修室)
- ・出張美術館11月16日(日)13:30~15:00(高松市男女共同参画センター学習研修室)

### 2. 企画総務委員会

(実行委員長)吉田静子 (副実行委員長)大佛早苗 (講演部会)湯浅文代

(映画・ワークショップ部会)山田敏恵 (パネル展部会)若林友美

(広報・会計・記録・庶務)事務局 松田光世 (託児)円福寺紀子

### 3. 全体のテーマ

「自分色に輝く未来へ!」

講演会(演題)「ジェンダーの視点でひらく、新しい政治とは~地域の未来をかえよう~」

講師:三浦まりさん(上智大学法学部教授)

# あゆみ

## 高松市男女共同参画市民フェスティバルの歩み

	行事名	テーマ
昭和49年	第1回婦人のつどい芸能発表会	くらしと憩い
昭和50年	第2回婦人のつどい	くらしと教育
昭和51年	第3回婦人のつどい	情報化時代—現代の情勢と新聞の見方—
昭和52年	第4回婦人のつどい	—みんなでみつめて みんなでつくろう！ うるおいのある市（まち） たかまつを—
昭和53年	第5回婦人のつどい	—みんなでみつめて みんなでつくろう！ うるおいのある市（まち） たかまつを—
昭和54年	第6回婦人のつどい	—みんなでみつめて みんなでつくろう！ うるおいのある市（まち） たかまつを—
昭和55年	第7回婦人のつどい	みなおそう男女平等 つくりあげよう豊かな老後—母性 として市民として人間として行動すべきものは何か—
昭和56年	第8回婦人のつどい	話しあおう 市民として 人間として いま確かな婦人の 生涯を！！—婦人の連帯と社会参加—
昭和57年	第9回婦人のつどい	市民として 人間として いま確かな婦人の生涯を！！
昭和58年	第10回婦人のつどい	市民として 人間として いま確かな高松（まち）づく りを！！
昭和59年	第11回婦人のつどい	市民として人間として いま確かな高松づくりを！！ つくろう いきいき 新しいふるさと
昭和60年	第12回婦人のつどい	—心はずむ高松づくり しなやかに力強く 2000年をめざして—
昭和61年	第13回婦人のつどい	—心はずむ高松づくり しなやかに力強く 21世紀をめざして—
昭和62年	第14回婦人のつどい	—21世紀への出発— 知恵と勇気と行動で
昭和63年	第15回高松市婦人のつどい	—女・21世紀への出発— 男女が共に生きあうために
平成元年	第16回たかまつ女性のつどい	—知恵と勇気と行動で—
平成2年	レトロ彩色写真展	100年前の女性たち
平成2年	日本女性会議'90 たかまつ 高松市制100周年記念	—快適に働き 快適に生きる—
平成2年	第17回たかまつ女性のつどい	—女性がつくる豊かまちづくり—
平成3年	第18回たかまつ女性のつどい	—人間にやさしいネットワーク— わたしからあなたへ
平成4年	第19回たかまつ女性のつどい	人にやさしいネットワーク —つなごう ひろげよう 世界に 向けて—
平成5年	第20回女性のつどい	創りだそう イキイキ高松
平成6年	第21回女性のつどい	創りだそう イキイキ高松 —いま 家族を考える—
平成7年	高松市女性センターオープン オープニング記念イベント	女（ひと）と男（ひと）で創る新時代
平成8年	高松市女性センター1周年記念イベント・ 第23回たかまつ女性のつどい	女（ひと）と男（ひと）で創る新時代
平成9年	'97 高松市男女共同参画市民フェスティバル	認めあい 創り出し 共に生きる
平成10年	'98 高松市男女共同参画市民フェスティバル	拓こう21世紀を —可能性は無限大—
平成11年	'99 高松市男女共同参画市民フェスティバル	拓こう21世紀を —心もまちもバリアフリー—
平成12年	高松市女性センター開館5周年記念事業2000 年高松市男女共同参画市民フェスティバル	わたしが主役！ —みんなが住みよい“まち”をめざして—
平成13年	2001年高松市男女共同参画市民フェスティバル高松市市制施行111周年記念事業第12回 男女共同参画全国都市会議2001 たかまつ	女と男 ともに創ろう参画社会—いきいき新世紀— 人として輝いて—21世紀 ともに創ろう参画社会
平成14年	2002年高松市男女共同参画市民フェスティバル	創ろう みんなの手で—わたしのまち・あなたのまち—

# あゆみ 2

## 高松市男女共同参画市民フェスティバルの歩み

年	行事名	テーマ
平成 15 年	2003 年高松市男女共同参画市民フェスティバル	めざす・出来る・やってみよう
平成 16 年	2004 年高松市男女共同参画市民フェスティバル	素敵だね 笑顔あふれる 参画ネット
平成 17 年	高松市女性センター開館 10 周年 & 2005 年男女共同参画市民フェスティバル	だれもがいきいき共同参画 ～広めよう！女と男の行動で～
平成 18 年	2006 年合併記念 高松市男女共同参画市民フェスティバル	希望あふれる新しい高松 ～こどもが元気、大人が元気、まちが元気～
平成 19 年	2007 年男女共同参画都市宣言 10 周年記念市民フェスティバル	認め合い 創り出し 共に生きる
平成 20 年	2008 年高松市男女共同参画市民フェスティバル	認め合い 創り出し 共に生きる ～新たな男女共同参画への取り組み～
平成 21 年	2009 年高松市男女共同参画市民フェスティバル	輝け！！～まち・ひと・未来～
平成 22 年	2010 年高松市男女共同参画市民フェスティバル	認め合い 支えあい 共にいきいき！
平成 23 年	2011 高松市男女共同参画市民フェスティバル	絆～未来へつなぐまちづくり～
平成 24 年	2012 高松市男女共同参画市民フェスティバル	つながろう世代を超えて ～安心安全なコミュニティづくり～
平成 25 年	2013 高松市男女共同参画市民フェスティバル	いきいき未来を創り出そう ～今こそ、男女共同参画を～
平成 26 年	2014 高松市男女共同参画市民フェスティバル	認め合い、支えあい、ともに輝こう！
平成 27 年	高松市男女共同参画センター開館 20 周年記念 & 2015 男女共同参画市民フェスティバル	ひと・まち・未来を輝かそう！！ ～男女の勇気と行動で～
平成 28 年	新・高松市男女共同参画センター開館記念 & 2016 男女共同参画市民フェスティバル	ひと・まち・未来を輝かそう！！ ～みんな参画 みんないきいき～
平成 29 年	2017 高松市男女共同参画市民フェスティバル	輝かそう！ひと・まち・未来 ～次世代につなごう～
平成 30 年	2018 高松市男女共同参画市民フェスティバル	あなたが主役！ 輝かそう！ひと・まち・未来
令和元年	2019 高松市男女共同参画市民フェスティバル	みんな参画 みんないきいき ～だれもが自分らしく 人生 100 年～
令和 2 年	2020 高松市男女共同参画市民フェスティバル	次世代につなごう～平等・創造・平和への行動～
令和 3 年	2021 高松市男女共同参画市民フェスティバル	コロナ禍を超えて 共に生きる社会へ
令和 4 年	2022 高松市男女共同参画市民フェスティバル	つながる絆 自分らしく生きる社会に
令和 5 年	2023 高松市男女共同参画市民フェスティバル	だれもが 自分らしく 暮らせる社会へ！
令和 6 年	2024 高松市男女共同参画市民フェスティバル	だれもが可能性に挑戦できる社会へ！
令和 7 年	2025 高松市男女共同参画市民フェスティバル	自分色に輝く未来へ！

広報高松  
2025  
・  
11  
月号  
→

男女共同参画センター ☎ 833・2282

「2025高松市男女共同参画市民フェスティバル」  
「自分色に輝く未来へ！」をテーマに講演会やお笑いライブ、出張美術館などを実施します。

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

### <編集後記>

2025年(令和7年)は、新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同じような感染症として位置付けられました。

「2025 高松市男女共同参画市民フェスティバル」は、講演会、映画・ワークショップ、パネル展と他にも新たにお笑いライブ、自分らしき相談&体験ブース、出張美術館などの新しいイベントも開催され、参加者の皆様方のご協力のもと、大盛況で終えることができました。フェスティバルにご協力頂きました登録団体ならびに、参加者の皆様方に、深く感謝申し上げます。

2025高松市男女共同参画市民フェスティバル実行委員会

# アルバム

## 講演会



## ワークショップ



## 映画



## パネル展



## 自分らしさ相談 & 体験ブース



## お笑いライブ



# 男女共同参画都市宣言

わたしたちは、美しい自然に恵まれ、豊かな歴史と文化を創出してきた高松市民としての誇りを持ち、一人ひとりの市民が人間として尊重され、男女が共に政治・経済・社会および文化のあらゆる分野に参画し、共に責任を担い、かつ、個性と可能性が活かされる社会の実現をめざし、ここに男女共同参画都市高松を宣言します。

認めあい

創り出し

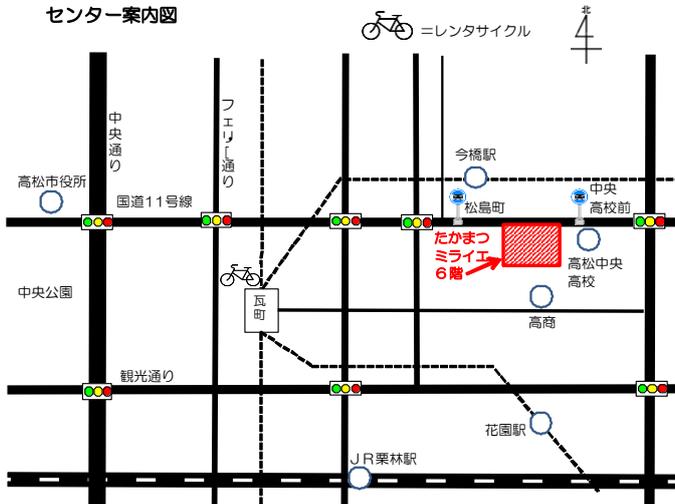
共に生きる

心をひらこう あなたとわたしのパートナーシップのために  
勇気をもとう あなたとわたしの存在を尊ぶために  
拓いてすすもう あなたとわたしが共にいきいき輝くために  
手をつなごう みんなで世界の平和と地球の命を守るために  
そして翔ぼう 男女共生のすばらしい明日をめざして

平成9年12月18日

高松市

センター案内図



たかまつミライエ



## 2025 高松市男女共同参画市民フェスティバル報告書

編集 2025 高松市男女共同参画市民フェスティバル実行委員会

発行 2026年2月

住所 〒760-0068 高松市松島町一丁目15番1号 たかまつミライエ6階  
高松市男女共同参画センター内

TEL 087-833-2282 FAX 087-833-2286 URL : <https://www.sankaku087.net/>